

～機器導入で経未利用部位を有効活用～
株式会社カネゼン（静岡県焼津市）

背景・課題

近年のカツオ相場の高騰や不安定な水揚げ等の影響から、1尾当たりの有効利用及び価値向上が鯉鮪業界全体の課題となっている。有効利用の一例として、魚粉向け原材料に留まっている加工残渣の有効活用について検討していたところ、動脈球については、機能性・美容素材向けの原材料として利用可能で、且つ魚粉用途よりも高値で販売できることが判明した。しかし、現在の製造工程及び設備では、高品質な状態で動脈球のみを他残渣から採取する作業には手間が掛かり、作業員不足等の理由もあり、本格的な事業展開ができない状況である。

取組のポイント

カツオ・マグロ加工における残渣の有効利用のため、動脈球の自動採取・分離機を導入し、資源の有効活用及び原料魚の価格向上に取り組む。

採取した鯉動脈球を袋詰め及び凍結を行い、動脈球をエラスチン製造し、日本含むアジアや欧州等のサプリメントメーカーに販売し、各国のサプリメントメーカーが最終製品であるサプリメントを製造し消費者へ販売する。

取組の成果

鯉頭部から心臓を取出す機械の導入により、今までは人手不足のため実施できなかったカツオ残渣の有効活用への着手が可能になった。

今後はさらに高付加価値商品の製造に取組み、国産カツオ原料の価値向上を目指すこととしている。

プロジェクトフロー

鯉鮪業界

カツオ相場の高騰や不安定な水揚げから、1尾当たりの有効活用及び価値向上が課題

動脈球を機能性・美容素材向けの原材料として利用。魚粉用途より高値で販売可能に

株式会社カネゼン

現在の製造工程や設備では、作業員不足等もあり本格的な事業展開ができない

鯉動脈球の自動採取・分離機を導入。資源の有効活用及び原料魚の価格向上を図る

輸出先

日本含むアジア、欧州、北米の世界各地で需要・市場が拡大。今後も継続的な需要が見込まれる

高付加価値商品の製造に取組み、国産カツオ原料の価値向上を目指す

鯉動脈球自動採取・分離機

